

畜産茨城

第475号

平成30年11月30日



目次

平成30年度牛乳消費拡大事業 ポスターコンクール表彰式開催される……………1	家畜ふん堆肥の新たな利用法について……………5
収穫調製専用機械のいない稲WCS調製方法……………2	平成30年9月市況……………6
平成30年度県南地域特定家畜伝染病 防疫演習(体験型実地演習)について……………3	肉用子牛生産者補給金・肉用牛繁殖経営支援事業発動状況……………6
第42回茨城県畜産連陸牛枝肉共励会……………3	平成30年10月市況……………7
	牛マルキン事業発動状況……………7
	ちくさんフードコレクション2018 in いばらき……………8

発行所／茨城県水戸市梅香1丁目2番56号
公益社団法人茨城県畜産協会
電話 029 (231) 7501
URL <http://ibaraki.lin.gr.jp>
発行人／佐野 治

平成30年度茨城県牛乳消費拡大事業 ポスターコンクール開催される



茨城県牛乳消費拡大事業ポスターコンクールが開催され、表彰式が11月1日(木)水戸駅ビルエクセル(本館)6階エクセルホールで開催されました。

昭和54年に第1回が開催された(応募総数30点)ポスターコンクールは、多い時で応募総数11,061点(昭和63年)にも及び、近年は2,000点前後とやや減少傾向で推移しているものの、学校数としては小学校70校前後、中学校40校台からの応募があります。

平成30年度のポスターコンクールが今般、第40回を数える開催となったのも、茨城県牛乳普及協会が設立当初から「ポスター作品を通じて牛乳の魅力や効能を認識し、牛乳の消費拡大につなげる」を目的として実施を継続してきた結果であり、小・中学生に対する牛乳への意識高揚を応募として取り上げての事業は、先人達の本当に的を射た企画でありました。そして、少子化が進む中、毎年続けている小・中学校への「出前

教室」や、牛乳の価値を伝える最近のメディア発信や国民の健康志向への高まり等の影響が追い風となったとはいえ、40年間もの間、小・中学生と一緒に歩んでくることができたこのポスターコンクールは、素晴らしい事業であったと自画自賛しております。

今般の審査は、9月25日に行われ(応募総数1,921点)、平成30年度牛乳消費拡大ポスターコンクール表彰式では、最優秀賞(県知事賞)を見事受賞した：筑西市立関城東小学校6年の秋山倫太郎さんに賞状が授与され、さらに優秀賞6点、佳作53点が表彰されました。

表彰式には、ご父兄の方々を含めて100名を超える出席があり、選ばれた作品は連休を含む11月4日(日)まで水戸駅ビルエクセル(本館)6階通路に展示されました。

(表彰内容は、茨城県酪産ホームページに掲載されております)

茨城県牛乳普及協会 事務局長 市村 章

地方競馬の収益金は畜産の振興に役立てられています

収穫調製専用機械のいない稲WCS調製方法

茨城県県北農林事務所 振興・環境室 農業振興課

【はじめに】

稲発酵粗飼料（稲ホールクロップサイレージ 以下、稲WCS）の利用は、水田の有効活用や畜産農家の生産コストの低減につながると関心を集めています。

稲WCSは栄養価が高く、牛の嗜好性も良く、また、畜産堆肥の水田への還元など資源循環も可能となり、多くの利点があります。

稲WCSの調整方法は一般的に

- ①コンバインで収穫後、ベラーで丸めラップサイレージとする方法と
- ②バインダーで刈取り後カッターで細断しカップサイロに詰め込んでサイレージとする 2つの方法で行われています。

しかしながら、①の方法では、専用の機械が必要であり、②の方法は細断、詰め込みと重労働が伴います。そこで、これらの課題を解決しようと、大子町の和牛繁殖農家Kさんが考案し実践している稲WCS調製方法を紹介します。

【調製方法】

用意するもの（稲WCS用水田10aあたり）

- ・黄熟期に長いまま刈り取り、ほ場で2日間程度干した飼料用稲（適度な水分は残す）
- ・6×100mのビニールシート（厚さ0.05mm）1枚
- ・乳酸菌（畜草1号）、ジョウロ、水4リットル
- ・ローダー等（土運搬用）

手順

畑（日蔭のほうがより良い）にビニールシートを二重にして広げる⇒その上に飼料用稲を隙間なく積み上げる⇒乳酸菌を溶かしジョウロで上から降りかける⇒ぴったりとビニールを被せガムテープで止める⇒その上にローダー等で端から空気を抜くように土を載せる。土は空気を抜く為のもので10cm程度で十分。少ないと雨で流れカラス等にいたずらされるので注意する。

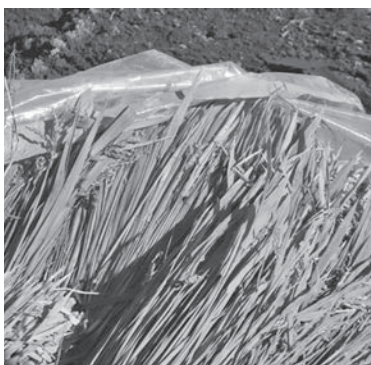


乳酸菌を添加



端から土を被せる

【給与方法】



給与時の状態

昨年度は「たちすずか」を9月末～10月上旬に刈取り調製後、11月中旬～2月までに給与しました。3月になると地温が上がりカビが生えやすいので寒いうちに使い切ることが必要です。

親牛に、8～10束（12～15kg）/日/頭を稲の結束紐を切りそのまま餌槽に入れ与えます。

子牛には、食べやすいように②の方法で調製したものを、ワラと混ぜて3～5kg/日/頭与えています。

このように用途別に調製方法を分け、作業の効率化を図る工夫もしています。

平成30年度県南地域特定家畜伝染病防疫演習（体験型実地演習）について

茨城県県南家畜保健衛生所

高病原性鳥インフルエンザなど特定家畜伝染病の発生に備え、今年度も県南地域の関係機関が一同に会して、去る9月26日（水）、土浦市農村環境改善センターにおいて体験型の実地演習を行いました。

県南地域では昨年度より市町村の公共施設のうち防疫支援センターの候補となっている施設を使って実地演習を行っており、昨年度はかすみがうら市で、今年度は土浦市で行いました。

万が一発生した場合に防疫支援センターとして使用を想定している公共施設で、設営準備から動員職員を対象とした受付、健康チェックなど一連の流れを実際に体験することにより、イ

メージがつかみ易くなるとともに、施設の使い勝手を検分することが出来ました。

内容的には、動員職員を対象とした血圧測定や保健師さんによる問診などを行うとともに、今年度は鶏の処分と梱包作業を焼却場関係者に行ってもらい、焼却する鶏の荷姿や重さを体感してもらいました。

また、作業後に防護服を脱ぐ際、消毒用アルコール等で「手指消毒」をこまめに行うことで作業者の安全が確保できることを再確認しました。

今後とも参加者等の意見を取り入れながら防疫演習を充実させ、体制強化を図っていきます。



防護服装着
(参加者が互いの袖口を
目張りする様子)



鶏の処分、梱包作業
(右後に梱包した箱がパレット
に積上げられている)



防疫作業前の防疫作業者の
健康チェック
(問診と血圧測定風景)



作業者の防護服の脱衣
(防護服を脱ぐ前に手指消毒を
している様子)

【情報提供】

今年、特定家畜伝染病の病原体が海外から侵入した可能性を窺わせる事例が確認されています。特定家畜伝染病の発生予防のために、ウイルス侵入対策を徹底しましょう！

- ①過去に清浄化された豚コレラが9月、26年ぶりに国内（岐阜県）で発生。
- ②アフリカ豚コレラの原因ウイルスが10月、中国からの訪日客の手荷物（ソーセージ）から検出。

第42回茨城県畜産常陸牛枝肉共励会

茨城県畜産農業協同組合連合会

平成30年9月24日（月）～26日（水）、東京都中央卸売市場食肉市場において「第42回茨城県畜産常陸牛枝肉共励会」を開催しました。本共励会は本会が主催し、茨城県・全国畜産農業協同組合連合会・東京食肉市場株式会社の後援を受け、常陸牛のブランド化及び生産農家の肥育技術向上等を目的として昭和52年から毎年継続して開催しております。今回は、本会傘下の常陸牛指定生産者が丹精込めて飼育した黒毛和種の中から50頭を厳選して開催しました。

出品牛の内訳は去勢42頭・雌8頭で、平均

出荷月齢は30.4ヶ月齢でした。出品牛は常陸牛に格付けされる上物率が96%、BMSNo.10以上（極上・特撰クラス）が24頭（48%、過去最高）、うち5頭がBMS12（肉質最高位）というハイレベルな品揃えとなりました。東京食肉市場からも「肉量・肉質に優れた牛が揃っており素晴らしい共励会」との総評をいただきました。良質で甲乙つけがたい枝肉に審査も難航しましたが、名誉賞には肉質・体型・重量と三拍子揃った迫力ある枝肉として、常総市の佐藤宏弥氏の出品牛が選抜されました。また、今回から枝肉

格付による審査以外に購買者の視点で選定される「推奨牛」を褒賞に加えました。これは、購買者にとって儲かる牛（無駄が少なく高級部位が多くとれる牛）や、消費者に喜ばれる牛（美味しい肉・良質な脂質）を目指そうという新たな

な取組みであり、今後も関係者の意見を伺いながら将来的な方向性として進めていきたいと考えます。

（入賞牛については、別表のとおりです。）

【入賞者名と成績】

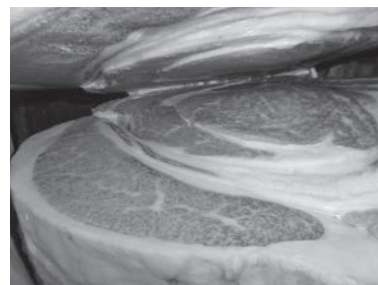
褒賞	市町村名	出品者	性別	父	2代祖	3代祖	枝肉重量	BMSNo	ロース芯	バラ厚	単価	売上金額
名 誉 賞	常 総 市	佐 藤 宏 弥	去勢	直太郎	美国桜	光平照	673	12	120	11.0	3,107	2,091,011
最 優 秀 賞	筑 西 市	澁澤畜産(株)	去勢	美津忠	安福久	百合茂	547	12	100	9.3	3,025	1,654,675
優秀賞1席	銚 田 市	株式会社澁澤畜産	去勢	百合茂	安福久	平茂勝	565	12	86	10.0	3,011	1,701,215
優秀賞2席	筑 西 市	澁澤畜産(株)	雌	直太郎	安福久	百合茂	514	11	86	9.2	3,096	1,591,344
優 良 賞	笠 間 市	設 楽 俊 夫	雌	諒太郎	平茂勝	紋次郎	495	10	65	8.4	2,616	1,294,920
〃	土 浦 市	櫻 井 貴 博	雌	聖香藤	第1花国	平茂勝	476	11	75	8.0	2,916	1,388,016
〃	土 浦 市	櫻 井 貴 博	去勢	平忠勝	安福久	北国7の8	517	12	76	7.7	2,799	1,447,083
〃	筑 西 市	澁澤畜産(株)	雌	徳悠翔	安福久	金 幸	482	11	84	8.6	3,003	1,447,446
〃	水 戸 市	吉 成 邦 雄	去勢	幸紀雄	安福久	勝忠平	533	10	80	8.2	2,871	1,530,243
〃	日 立 市	鈴 木 政 昭	去勢	美津百合	美津照重	茂弘桜	584	11	66	8.2	2,732	1,595,488
推奨牛(脂質)	古 河 市	宇都木孝浩	去勢	第1花国	安福久	勝忠平	512	10	77	8.3	2,754	1,410,048
〃 (体型)	かすみがうら市	木 村 修	去勢	美津百合	安福久	金幸福	482	10	74	7.2	2,719	1,310,558



牛枝肉相場においては、ふるさと納税の返礼品や輸出向けの需要に支えられた5等級は前年と同水準程度の取引単価となっておりますが、出回りの多い4等級は同じ規格でも枝肉のつくりや肉色により価格差が広がる傾向がより強くなる傾向にあります。今回の販売金額においても最高値が209万円・最安値が102万円と実に2倍以上の価格差がありました。導入時の素牛金額が平均90万円前後であったことを考えると（良質牛を揃えた共励会であっても）飼料代や経費を差引くとマイナス収支となる牛も出ております。原因となる素牛価格の高騰は全国的な問題であり、安定的な肥育経営を継続するためには「牛マルキン制度」での補助増額等、国政での対応が緊急の課題であるとも考えます。

本共励会においては、平成26年（第38回）から美味しさの指標として脂肪の質「オレイン酸」の測定開示の取組みも継続しており、購買者からの注目が高まってきているものと実感しております。一部マスコミ等では、赤肉嗜好とか霜降り牛肉はいらない等と報道されておりますが、和牛の脂はオリーブオイル同様にコレステロール減少・病気や老化の原因となる酸化の抑制・血圧降下効果等があり、効率的にオレイン酸を摂取できる機能性食品とも言われております。是非とも、安心・安全・美味しく・健康にも良い「常陸牛」をたくさん消費いただきますよう、お願い申し上げます。

最後になりましたが、本共励会を開催するにあたり、ご協力いただいた関係機関の皆様、審査をしていただいた諸先生方、出品された生産者の皆様に、心よりお礼を申し上げます。



1. はじめに

家畜排せつ物法が本格施行されてから10年以上が経過し、各畜産農家で生産される家畜ふん堆肥（以下、堆肥）の品質は日々向上しています。その一方で、近年堆肥を利用する耕種農家の高齢化が進み、販売先の減少により堆肥の流通が滞る事例が増えつつあります。

畜産センターでは、堆肥が余ってしまった場合に減容化（量を減らす）する方法として「無煙化小型燃焼機（焼却炉）」を使って堆肥を燃焼させる手法について検討しています。また、燃焼機の隣に温水循環貯湯タンク（容量4.15m³）を併設し、燃焼により得られた排熱を温水として利用する方法についても研究を進めています。今回はこれまでに得られた結果を紹介します。

2. 堆肥燃焼試験の概要

当センターの敷地内に、火床面積0.49m²、焼却能力48kg/hの水冷式焼却炉（（有）関口鉄工所製、写真1）を設置し、豚ふん堆肥の燃焼による減容化試験を行いました。堆肥のみでは燃焼を継続することが困難であるため、容積ベースで同量のおが粉を混合して焼却炉へ投入しました。

(1) 実施日

平成30年2月26日

(2) 燃焼資材の種類

豚ふん堆肥（密閉型・副資材なし）
おが粉（リサイクルおが粉）

(3) 資材投入量

堆肥15kg（水分率26.8%）とおが粉7kg（水分率10.1%）を混合したものを1回分とし、15分を目安に燃焼させ、8時間投入を継続した。

(4) 調査項目

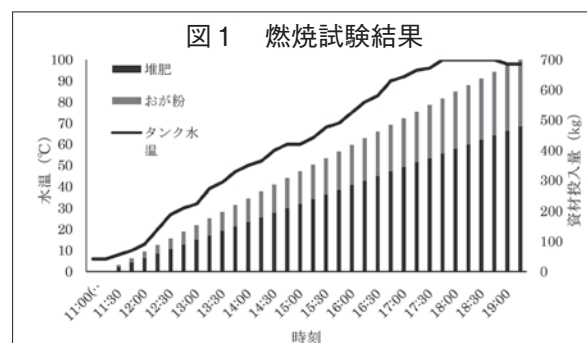
1日に燃焼可能な堆肥量、減容率（燃焼灰/投入資材量）、循環タンク水温



3. 試験結果

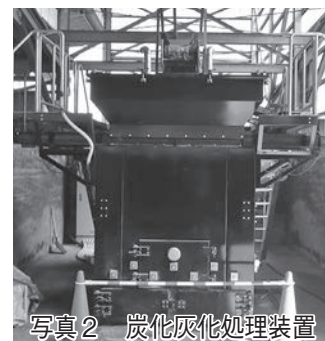
豚ふん堆肥とおが粉を容積比概ね1：1で投入し、一日（8時間）で燃焼できる限界量を確認した結果、堆肥480kg（+おが粉224kg）を燃焼させることができました（図1）。また、翌朝、燃焼灰の重量を測定したところ37kg（減容化率は約5%）であったことから、しっかり燃焼し大幅に減容化されていました。しかし、今回の試験では設計上の焼却能力を超える量の資材を投入したことから、一時的に不完全燃焼が生じたため黒煙が出ました。今後は、現地実証を念頭に排煙を確認しつつ周辺環境に配慮した投入限界量の検討を行っていきます。

次に、燃焼熱の温水利用効果について、2月に実施したため、外気温が最低気温0℃、燃焼開始時で10℃と低温であったことから、開始時の水温は6℃と極めて低い状態でした。燃焼開始後1時間程は緩やかな温度上昇でしたが、その後は急速に温度が上昇し、5時間後には限界の100℃まで上昇しました（図1）。温水タンクに溜まった温水は、畜舎やビニールハウスの加温に利用することが可能であると考えられますので、低コスト循環システムについて、引き続き検討を続けていきます。



5. おわりに

今回は堆肥化処理した家畜排せつ物の利用方法について紹介しましたが、近年、畜舎から出てきたふんをそのまま処理する装置として、「炭化灰化処理装置」が話題になっています。同装置は、一日に発生するふんの一部（1日1m³程度）を処理する仕組みとなっており、1日1回または2回に分けて原料を投入すると、装置内部に溜まった熱で乾燥、炭化、灰化し、装置下部に灰になって出てきます。基本的な作業は、日々の原料投入と週1回程度の灰出し、少量でてくる廃液の処理のみといったシンプルで装置です。こちらの装置について、製造元の（株）丸山製作所の厚意により、6月末より畜産センターにデモ機を設置しております（写真2）。関心のある方にはできる限りお見せしておりますので、視察などをご希望の方は一度畜産センターまでお問い合わせください。



<参考>小型燃焼炉の設置について

焼却炉は、小型のものでも法律（ダイオキシン類対策特別措置法など）や条例（茨城県廃棄物の処理の適正化に関する条例など）の対象施設となり、行政機関への届出や排煙の定期測定が義務付けられています。（畜産センターに設置した小型ボイラーは、火床面積0.5m²未満、焼却能力50kg/h未満の極めて小さなものであるため、上記の規制は対象外。）

平成30年9月市況

子豚市場

全農茨城県本部 子豚市場

開催日	区分	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)
5	一般子豚 ベビー豚	0 267	18,360	13,608	16,429	35
19	一般子豚 ベビー豚	0 332	16,524	1,296	14,200	35

牛市場

全農茨城県本部 家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)	kg当たり単価(円)
14	和牛	♀	73	1,004,400	496,800	672,958	288	2,337
		♂	0					
		去計	88	1,009,800	578,880	783,884	317	2,473
	F1	♀	161	1,009,800	496,800	733,588	304	2,414
		去計	8	510,840	72,360	212,625		

種豚オークション

全農茨城県本部 子豚市場

開催日	区分	L		W		D		LW	WL
		♀	♂	♀	♂	♀	♂	♀	♂
14	入場頭数	10	0	0	5	0	12	14	0
	成立頭数	5			0		4	14	
	最高(円)	61,560					82,080	70,200	
	最低(円)	54,000					43,200	43,200	
	平均(円)	57,024					57,780	61,329	

大子町畜産農業協同組合 大子家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)	kg当たり単価(円)
16	和牛	♀	36	868,320	509,760	689,190	270	2,551
		♂	0					
		去計	44	1,085,400	598,320	805,140	288	2,794
			80	1,085,400	509,760	752,963	279	2,689

食肉地方卸売市場

株茨城県中央食肉公社

開催日	豚枝肉；日曜、祭日を除く毎日				牛枝肉；毎週月曜日、木曜日			
項目	上場頭数		卸売価格(枝肉1kg当たり単価・円)				屠畜頭数	
畜種	頭数	平均重量(kg)	極上	上	中	並	外	平均
豚	11,454.0	76.9	533	521	495	458	406	486
牛	頭数	平均重量(kg)	5	4	3	2	1	平均単価(円)
和牛	A	182	2,742	2,480	2,199	1,264	—	2,438
	B	16	—	2,304	1,755	890	707	
	C	11	—	—	1,058	723	558	
乳牛	A	—	—	—	—	—	—	496
	B	1	—	—	—	662	—	
	C	151	—	—	—	624	435	
交雑牛	A	15	1,949	1,725	1,625	1,213	—	1,518
	B	94	1,942	1,740	1,531	1,312	—	
	C	10	—	1,513	1,337	1,076	509	

茨城県家畜商業協同組合 茨城県中央家畜市場

開催日	畜種	年齢	性別	5, 9, 15, 19, 25, 29			
				頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)
乳牛	スモール	♀	去計	8	223,560	51,840	168,210
		♂	129	179,280	6,480	127,398	
		去計	0				
	子牛	♀	去計	137	223,560	6,480	129,781
		♂	1	243,000	243,000	243,000	
		去計	2	163,080	152,280	157,680	
F1	スモール	♀	去計	3	243,000	152,280	186,120
		♂	65	265,680	3,240	205,665	
		去計	70	360,720	162,000	284,858	
	子牛	♀	去計	0			
		♂	135	360,720	3,240	246,728	
		去計	1	218,160	218,160	218,160	
黒毛和種	スモール	♀	去計	1	291,600	291,600	291,600
		♂	0				
		去計	2	291,600	218,160	254,880	
	子牛	♀	去計	1	271,080	271,080	271,080
		♂	1	351,000	351,000	351,000	
		去計	0				
交雑牛	スモール	♀	去計	2	351,000	271,080	311,040
		♂	2	470,880	388,800	429,840	
		去計	2	604,800	415,800	510,300	
	子牛	♀	去計	1	604,800	604,800	604,800
		♂	5	604,800	388,800	497,016	
		去計					

肉用子牛生産者補給金・肉用牛繁殖経営支援事業発動状況

平成30年度第2四半期(平成30年7～9月)

○肉用子牛生産者補給金制度

(単位：円／頭)

○肉用牛繁殖経営支援事業

(単位：円／頭)

区分	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
保証基準価格	341,000	311,000	222,000	141,000	216,000
合理化目標価格	284,000	261,000	151,000	98,000	158,000
平均売買価格	757,300	573,300	206,000	243,200	395,700
補給金単価	—	—	16,000	—	—

区分	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種
保証基準価格	341,000	311,000	222,000
平均売買価格	757,300	573,300	206,000
発動基準	460,000	420,000	300,000
支援交付金単価	—	—	58,500

平成30年10月市況

子豚市場

全農茨城県本部 子豚市場

開催日	区分	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)
3	一般子豚 ベビー豚	0 303	17,388	10,044	15,796	35
7	一般子豚 ベビー豚	0 264	15,552	7,776	14,524	35
31	一般子豚 ベビー豚	38 224	16,524 16,200	15,768 15,120	16,228 15,705	50 35

牛市場

全農茨城県本部 家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)	kg当たり単価(円)
14	和牛	♀去計	64 0 104	872,640	354,240	621,506	281	2,213
		♂去計	168	1,046,520	493,560	741,212	304	2,442
		経産	6	1,046,520	354,240	695,610	295	2,359
	F1	♀去計	0 0 0	650,160	113,400	387,000	—	—

種豚オークション

全農茨城県本部 子豚市場

開催日	区分	L		W		D		LW	WL
		♀	♂	♀	♂	♀	♂	♀	♂
	入場頭数 成立頭数 最高(円) 最低(円) 平均(円)	開催なし							

大子町畜産農業協同組合 大子家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)	kg当たり単価(円)
	和牛	♀去計	開催なし					

食肉地方卸売市場

株茨城県中央食肉公社

開催日	豚枝肉：日曜、祭日を除く毎日 牛枝肉：毎週月曜日、木曜日									
項目	上場頭数		卸売価格(枝肉1kg当たり単価・円)							屠畜頭数
畜種	頭数	平均重量(kg)	極上	上	中	並	外	平均	豚	牛
豚	14,272.0	78.1	482	455	432	394	361	422	28,497	776.5
牛	頭数	平均重量(kg)	5	4	3	2	1	平均単価(円)		
和牛	A 165	195	462.4	2,729	2,474	2,165	1,581	—	2,426	
	B 19			—	2,326	1,710	1,075	811		
	C 11			—	—	1,153	978	544		
乳牛	A —	131	297.5	—	—	—	—	—	504	
	B 6			—	—	—	632	—		
	C 125			—	—	—	587	463		
交雑牛	A 11	89	515.3	2,059	1,837	1,462	1,297	—	1,585	
	B 66			1,870	1,708	1,586	1,343	—		
	C 12			—	—	1,487	1,152	—		

茨城県家畜産業協同組合 茨城県中央家畜市場

開催日	畜種	年齢	性別	5, 9, 15, 19, 25, 29			
				頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)
乳牛	スモール	♀去計	♀去計	9	228,960	32,400	108,720
			♂去計	113	196,560	15,120	144,968
			♀去計	1	147,960	147,960	147,960
			♂去計	123	228,960	15,120	142,340
F1	スモール	♀去計	♀去計	3	217,080	208,440	212,400
			♂去計	1	35,640	35,640	35,640
			♀去計	0	217,080	35,640	168,210
			♂去計	4	273,240	59,400	220,568
黒毛和種	子牛	♀去計	♀去計	74	368,280	86,400	278,009
			♂去計	89	368,280	59,400	251,932
			♀去計	0	368,280	59,400	251,932
			♂去計	163	510,840	510,840	510,840

牛マルキン事業発動状況

販売月	支払区分	肉専用種	交雑種	乳用種
平成30年9月	確定単価	15,100円	36,700円	40,200円
平成30年8月	確定単価	39,300円	50,800円	25,400円
	概算払単価	36,300円	48,100円	22,900円
平成30年7月	確定単価	6,900円	67,600円	25,800円
	概算払単価	3,500円	71,000円	22,600円

(注)

平成26年4月期の補填金交付から、四半期の最終月以外については、補填金を概算払いし、各四半期の最終月に確定単価で精算払いをすることになりました。(配合飼料価格安定制度の見直しによる生産費用算出の関係によるもの。)

また、平成26年4月から消費税抜きで算定されています。

○茨城県において補填金交付額に見合う財源を確保できない場合、補填金単価を減額することがあります。

◎算定基礎の詳しい情報は、(独)農畜産業振興機構 HP (<http://www.alic.go.jp>) をご覧ください。

ちくさんフードコレクション2018 in いばらき

ー来て・見て・知って・食べて・感じてー

茨城県酪農業協同組合連合会

去る9月29日（土曜日）に今年で5回目となる畜産・酪農関係団体主催による「ちくさんフードコレクション2018inいばらき」を茨城県三の丸庁舎（旧茨城県庁）・特設会場で開催しました。



畜産、酪農を取り巻く環境は生産資材の高騰を初め、諸外国との関税をめぐる交渉、後継者不足による生産基盤の弱体化等様々な問題を抱えており、茨城県産の畜産物の消費拡大を通して多くの消費者に対し畜産、酪農の理解醸成を目的に行われてきました。



折しも大型台風24号の接近により開催の判断を前日まで悩まされましたが、他のイベント等が開催中止を決める中で、本会

としても残念ではありますが安全を考慮して初日（29日）だけの開催となりました。当日は、朝からの雨で来場者の出足を心配しておりましたが、時間がたつにつれ雨がやんでる時間も増えて足下の悪い中4,000人の来場者を迎えることができました。

1番人気は、模擬搾乳体験コーナーで568名の方に乳搾り体験をしていただきました。その他牛乳パック工作コーナーでは野球帽と麦わら

帽の作成に多くの親子連れが楽しんでいました。子供コーナーの牛君とPK対決やトラクター展示も例年どおりの人気でした。また、県内産の牛乳を使ったコーナーでは、ミルスタのミルクシェイクや麦茶ミルク試飲コーナーでア



レンジミルクの美味しさを求め長い列もでき、牛乳についてのパネル展示や骨密度測定コーナーでは、牛乳が健康に大切な飲み物であることをPRすることができました。来年は青空の下で2日間開催できることを期待しています。

最後に、このイベントは牛乳、乳製品の消費拡大をPRするために、平成5年より「ミルクメッセ」として水戸市で開催し、場所を平成8年からひたち海浜公園、平成13年から畜産センター、また平成18年からひたち海浜公園と変えつつ、平成26年から現在の三の丸庁舎に場所を移して、テーマを「ちくさんフードコレクション2018inいばらき」ー来て・見て・知って・食べて・感じてーとして、今回も多く畜産関係者の協力を得て開催することができました。今後も畜産界が一体となって目的達成のため継続していききたいと思います。



いばらきの高品質豚肉

ローズポーク

茨城県銘柄豚振興会

事務局
〒311-3155 東茨城郡茨城町下土師1950
全国農業協同組合連合会 茨城県本部内
TEL / 029-292-8004
FAX / 029-292-7743

わたしたちは人と動物の
「これから」を真剣に考えています



森久保薬品株式会社 茨城事業部

下妻市亀崎4011-1

TEL/0296-43-1661

FAX/0296-43-6509 フリーアクセスFAX/0120-436-509

<http://www.morikubo.co.jp>

<http://www.haccp.jp>

県内唯一の食肉地方卸売市場
株式会社 **茨城県中央食肉公社**

代表取締役社長 小野 寺 俊

〒311-3155 茨城県東茨城郡茨城町大字下土師字高山1975

TEL / 029 (292) 6811 (代)

FAX / 029 (292) 6895

H P / <http://ibaraki-kousha.co.jp/>

市場開催日 { 豚枝肉 (日曜・祭日等を除く毎日)
牛枝肉 (毎週月・木曜日)

茨城県が誇る、霜降り牛肉

常陸牛
ひたちさか